かほく ワークシート

最盛期を迎えている「房州うちわ」作り＝27日午後

房州うちわ 軽やかな風

千葉・生産最盛期

千葉県南房総市で特産の「房州うちわ」作りが最盛期を迎えている。房州うちわは、「京うちわ」（京都市）、「丸亀うちわ」（香川県丸亀市）と並ぶ日本三大うちわの一つとされ、国の伝統的工芸品に指定されている。

「うやま工房」の宇山正男さん（85）は晩秋から冬にかけての竹選びから、骨組み作り、和紙や布の貼りなど全ての工程を1人でこなす。「しなやかさが特徴、軽やかな風を楽しんでほしい」。価格は千円から3万円とさまざま。工房では、うちわ作りの体験もできる。

（2016年６月28日河北新報朝刊）

①見出しにある「房州」とは、現在のどの地域を指しますか。地図帳でも確かめておきましょう。

（　　）

②「日本三大うちわ」と呼ばれているものを書き出しましょう。

「　　」（　　市）

「　　」（　　市）

「　　」（　　市）

③記事を読んで、うちわ作りの工程をまとめましょう。

→　　→

④夏を涼しく過ごすために、あなたはどんな工夫をしていますか。

（小学校高学年／朝の会、家庭科）